

2012石橋案内会 20基もの石橋を廻る

『絵画コンテスト』の一環として計画・実施している石橋案内会を今年も実施しました。

参加者は3名。マイクロバスの運転を世知原少年自然の家の野元さん、そして案内を末永が行いました。9時30分に世知原活性化センター『国見の郷』を出発。

この日は早朝から小雨が降り続いていました。中止も考えましたが、こんな天気の日にはどのような案内ができるのか、それを勉強させていただくつもりで実施しました。おそらく雨でということもあり、予定の参加者は5名でしたが、3名になりました。

出発時には、「あるいは車中からの見学になり、そうすると佐々町まで全ての石橋を廻れます」とも説明。ところがいざ廻りはじめると、雨はほとんどあかり、傘も不要になりました。明るい日差しさえあらわれるようになりました。そこで、予定していた橋はゆっくりと川まで降りて見ていただくことができました。

廻った橋は、『開作の桁橋』→『高観寺橋』→『小岩橋』→『竜の氏橋』→『尾崎橋』→『古山橋』→『いずみ橋』→『山口橋』→『山口神社の倉庫』→『若鮎橋』→『きりのき橋』→『奥の口橋』→『倉瀨橋』→『いし橋』→『いわい橋』→『岩下橋』→『前原橋』→『曲川橋(世知原)』→『春明橋』→『曲川橋』→『樋口橋』。

参加者が少なかったということは残念ですが、しかし、それぞれの関心に応えながら、ゆっくりとまわることが出来た点についてはよかったなという感想です。例えば、道の下、中央部にある『前原橋』は、これまで参加者と川に降りてみるということはほとんどありませんでしたが、やっぱり美しい輪石に感動していただけたようでした。『開作の桁橋』や『若鮎橋』なども同様に、今回案内できてよかったと思っています。

結局、終わってみれば20基もの石橋を廻っていました。おそらくこれまでで最高の数ではないかと思います。〈満腹状態〉で予定通り15時に『国見の郷』で解散しました。



曲川橋展望所に集う



10月20日、世知原少年自然の家の主催事業『県民講座』が行われました。10月13日には同じ講座で、講義の後世知原の石橋を廻りました。今回は吉井の石橋を廻り、曲川橋展望所で昼食休憩になりました。この日の参加者は27名。石橋を眺めながら、できたばかりのベンチ等に思い思いに座り、弁当を広げられていました。これまで何度か来られた方は「来るたびにきれいになっている」と語られていました。こういう光景が5年を経てやっと実現しました。

10月18日には、上流側に菜の花の種をまきました。春になるとまた違った風景が生まれるのかなと楽しみです。